



修学旅行で農業体験



当別グリーンツリズム協議会では、道外から修学旅行生の農業体験を受け入れています。昨年も来ている大阪国際滝井高校では、24人の生徒が1泊2日の農業体験を行いました。初日の天候が悪く、受入先の一つである獅子内のフレンドリーファームでは、豆腐作り体験を行いました。生徒たちは初めての作業に戸惑いながらも、豆腐を何とか完成させました。作った豆腐を食べた感想を聞くと、「味がしっかりしていて美味しい」と満足顔でした。協議会では、今後も複数校の受け入れを予定しています。（6月27日）

親元を離れ異学年と生活



親元を離れ、通学しながら、炊事・洗濯・掃除を協力し、団体生活を送る通学合宿が6月27日から7月2日まで行われました。

対象は小学5・6年生で、Jrリーダーや社会人ボランティアがサポートし、これまで14回開催されてきました。参加者は30人(当別小24人、西当別小6人)で、他校・異学年の交流でとても楽しい合宿となったようです。西当別小6年の上杉隼人君は「みんなでレクリエーションができて、とても楽しかった。来年はJrリーダーとして参加したい」と話していました。（7月1日）

当別ミニバス少年団全道へ



当別ミニバス少年団男子チーム(15人)は、6月18日～26日に開催された「夏季交歓大会札幌地区予選」で7位に入賞。これにより8月6日から旭川地区で、開催される全道大会の出場を決めました。

当別ミニバス少年団の全道夏季交歓大会の出場は21年ぶりの快挙ということです。（6月26日）



JICA 研修生と文化交流



アフリカから農業用水の研修で来ている、JICA 研修生が西当別小4年生（45人）と異文化交流を行いました。研修生は、ブルキナファソ、コートジボワールなど母国の紹介をした後、こま・けん玉・あやとりなどの昔の遊びや習字・折り紙などを児童から教えてもらいながら、一緒に楽しんでいました。最後に4年生全員による「よさこい」を披露して2時間の交流を終えました。研修生は「この交流で日本の文化を学べ、アフリカの国のことも知ってもらえてとても良かった」と話していました。（7月8日）

亜麻まつり in 当別



「第9回北海道亜麻まつり in 当別」が亜麻まつり実行委員会（津崎弘樹実行委員長）の主催により旧東裏小学校で開催されました。

この日の朝はあいにくの曇り空でしたが、薄紫色の可憐な亜麻の花に朝露がきらめきを与え、見ごたえは十分！ 町内外から訪れた方々が、思い思いに記念撮影をする姿も見られました。

まつり会場の旧東裏小学校舎内では、亜麻繊維の糸つむぎ体験も行われており、真剣な面持ちで体験を終えた5歳の男の子は「楽しかった」と満足そうに教えてくれました。（7月10日）



広 告

広 告

広 告

広 告